

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：国際教養学部

学年：3年

留学先大学：University of Lapland

現在の学期：Fall semester

時間割：授業は曜日固定ではないため、以下はとある日の時間割です。

| 曜日 | 履修科目名・時間等 |
|-----|--|
| 月 | Understanding Finland Global Media Education |
| 火 | Introduction to the Arctic |
| 水 | Finnish1 |
| 木 | Finnish Culture People and Cultures of the Arctic |
| 金 | Intercultural Communication |
| 土・日 | Teach and Learn “Korean”& “Finnish” |

履修科目や近況について

～履修状況～

フィンランドでは、日本と異なり時間割が固定されておらず、1つのコースでも、授業が火曜日にあたり木曜日にあたり、授業時間が3時間であったり2時間であったりします。そのため、上記の曜日は気にしないでください。ラップランド大学では、Art学部以外の授業は、基本的に学部を超えて履修することができます。私は Education 学部に所属していますが、自分の興味に沿ってとりたい授業を履修しています。

Understanding Finland では、フィンランド人の国民性や文化形成の要因について学びました。ほとんどの留学生が履修しています。フィンランド人は、他人を信頼し、よっぽどのことがない限り相手を信じることを重要視しており、それがロシアやフィンランド内での戦争の経験から生じた国民性であるということが印象的でした。

Global Media Education は、日本や韓国、ブラジルを含む世界各国の教授から、各国のメディア教育の現状に関してのお話を聞くというスタイルの授業です。毎授業後に課題があるのですが、それが自身で2分程度の動画を作成し、その中で何を学んだかを説明するというものでした。画角やカメラショットを工夫する、生成 AI を使う、2種類以上の音（音楽、声、交換音など）を使用するなどの条件があり、私は動画作成の経験が薄かったのでとても苦労しました。しかし、世界各国のメディア教育の現状を1つの授業で知ることができ、とても有益でした。

Introduction to the Arctic は、ラップランド地域の原住民であるサーミの人々の生活に関する授業で、Social Science 学部で開講されています。事前知識が無くても履修することができ、初心者向けの授業です。授業の中で1日、近くの科学館や森にハイキングに行きました。森で見た景色はとても新鮮でした。



Teach and Learn は、千葉大学でいう LEX プログラムのようなもので、ペアとお互いの言語を学びます。私は、Teach and Learn“Korean”と Teach and Learn“Finnish”の2つをそれぞれのペアと行っています。お互いの言語を学ぶだけでなく、文化についても学ぶことができ、授業とは思えないくらい楽しいです。いつどこでペアと会うかは完全に学生に委ねられており、他人を信頼するというフィンランド人の国民性が見られると感じました。

～生活面～

私は DAS という大学と提携している不動産が提供しているアパートに、中国出身のルームメイトと住んでいます。大学から徒歩 50 分の場所に位置しているため、中古の自転車を購入しました。通学だけでなく、近くのスーパーに行くときや City Centre に行

くときにも利用しています。私が購入した自転車は“JOPO”というブランドのもので、フィンランドの代表的な自転車ブランドだそうです。町中でも、同じブランドの自転車をよく見ます。



フィンランド人のお宅に招待していただき、フィンランド料理を振る舞っていただきました。これは、チーズに自家製キャラメルソースをかけて、その上にリンゴンベリーという北欧の伝統的なベリーをのせたものです。



海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：国際教養学部

学年：3年

留学先大学：University of Lapland

現在の学期：Spring semester

時間割：

| 曜日 | 履修科目名・時間等 |
|-----|---|
| 月 | 12:00-14:00 Finnish system of education 9:00-11:30 Academic Literacies |
| 火 | 12:00-16:00 Theory & Research of Global Education |
| 水 | |
| 木 | 12:00-15:00 Academic Communication |
| 金 | 12:00-16:00 Theory & Research of Global Education |
| 土・日 | Online: Understanding Your Own Culture: Culture Dimension Models Online: Positive Development Across Life course Teach & Learn "Korean" |

履修科目や近況について

～履修状況～

Finnish system of education では、フィンランドの教育制度に関して、“Adult Education” “Media Education” “Special education”などの様々な観点から学びました。日本の教育制度とフィンランドの教育制度を比較し、考えを深める良い機会となりました。

前セメスターで、ディスカッションやディベートの際に、アカデミックな場面で自分の意見をいかに分かりやすい形で伝えるかが重要であることを痛感しました。そこで、Academic Literacies と Academic Communication を履修し、そういったスキルを学んでいます。Academic Literacies は学術的な文章の理解に関する授業で、とにかく読む、Academic Communication は自分の意見をうまく英語で伝えるための文章の構

成方法やジェスチャーの使い方などに関する授業で、とにかくずっと話しています。

また、今セメスターも全セメスターに引き続き、Teach&Learn で韓国語を学んでいます。前のペアは全セメスターで帰国してしまったため、新しい韓国人のペアと行っています。言語だけでなく、韓国の文化についても学ぶ機会となり、楽しみながら学んでいます。

Online: Understanding Your Own Culture: Culture Dimension Models は、前セメスターで受講した Intercultural Communication の続きのような授業で、前セメスターで学んだことをもとに、今セメスターで自国の文化を分析しレポートを書くというものです。クラスというものは無く、決められた提出期限までにレポートを書いて提出するというものです。

～生活面～

フィンランドの冬は、-20 度ほどになると木々に下が積もって、見渡す限り真っ白の世界に変わります。雪が頻繁に降るわけではなく、1 度降った雪が寒さの故に溶けず、ずっと残っているためにできる景色で、とても美しいです。



私が住んでいるアパートの近くに無料のスケートリンクがあり、そこにスケートをしに行くのはまっています。日本でスケートをするためには、まず場所を探し、安くないお金を払わなければいけないため、自分のアパートの近くにこんな素敵な場所があることに、とても恵まれていると感じます。スケートシューズは、もうすでに帰国した留学生の友人から譲り受けました。他の留学生も、スケートシューズは新しく新品を買うのではなく、セメスターの初めに開かれるリサイクルルームという、前

の留学生が置いていったものを無料でとっていける場所でゲットしたり、帰国する留学生から受け取ったりしている人が多いように感じます。

また、アパートのバルコニーから真珠母雲を見ることができました。これは、オーロラよりも珍しいとされている雲の一種で、高緯度地域でしか見られないそうです。肉眼でも下の写真のようにカラフルに見え、それに絵を描いたようでした。

